

平成 26 年度第 6 回生駒市介護保険運営協議会予防部会
議事録

開催日時	平成 26 年 10 月 16 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
開催場所	生駒市コミュニティセンター 4 階 4 0 1 会議室
出席者 （委員）	高取委員、井上委員、林委員、小川委員、中庄谷委員、藤尾委員
欠席者	
事務局	高齢福祉課長 安達、高齢福祉課課長補佐 堤、高齢福祉課係長 谷、 高齢福祉課 水澤、介護保険課長 奥田、介護保険課課長補佐 島岡、 介護保険課課長補佐 田中、介護保険課係長 吉田、介護保険課係長 原木、 介護保険課 齊藤
案件	<ul style="list-style-type: none"> （1）会議の公開・非公開について （2） 高齢者保健福祉計画の素案について（修正版） （3） 第 6 期介護保険事業計画（一部抜粋）の素案について（修正版） （4） その他
資料	<p>平成 26 年度 第 6 回生駒市介護保険運営協議会予防部会 会議次第</p> <p>（資料 1） 高齢者保健福祉計画の素案（修正版）</p> <p>（資料 2） 第 6 期介護保険事業計画（一部抜粋）の素案（修正版）</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 資料確認
事務局	本日の会議は会議次第に沿って進めます。会議は生駒市介護保険運営協議会予防部会設置要綱に基づき、部会長にお願いすることになっていきますので、高取部会長よろしくお願ひします。
部会長	案件（1）会議の公開・非公開についてですが、今回の案件を見ると、特に個人名や特定の事業所名等が明記されていないので、公開でよいかと思いますが、他の委員の方でご意見、ご質問はございませんか。
一同	異議なし
部会長	会議は公開といたします。 では、案件（2）高齢者保健福祉計画の素案について（修正版）説明願ひします。
事務局	案件（2）高齢者保健福祉計画の素案について（修正版）説明
部会長	ただいま説明いただきました件について、ご意見・ご質問等ございませんか。
委員	「民生委員は、職務の困難さがあり」と書いてありますが、そんなに困難なのですか。
事務局	生駒市だけではなく、日本全国で。
委員	皆さん、喜んでしているではありませんか。
事務局	そうではありません。基本的に月のうち半分以上。
委員	私たちは毎日うろうろしています。

事務局	その辺もあります。
委員	でも、それを言葉にしてしまうと、これを読んだ人が民生委員なんかしたくないとなってきましたから、また、次、民生委員になりたいわと思わせるような言葉を入れてもらわないと。私はどちらかというと、民生委員をしたい方だったんです。でも縁がなくてできなかったんですが、次を担う人がこれを読んで、あ、私、次にもしも声をかけられたら受けようかなと思えるように書いてくれたらうれしいのですが。ボランティアレベルとしては。こんな感じなんですか。
事務局	なり手は逼迫しています。
委員	2年だけしてほしいとか、3年だけしてほしいとか言うからですよ。ああいうふうに自治会で決めるでしょう。2年だけにしとくなとって頼みますね。そうしたら、2年したら辞められるんです。2年だけしてくれというふうに変に配慮しすぎている。ようよう研修を受けて覚えられたころにやめられるからいけないんです。やっぱり10年ぐらいしてもらわなければ。
事務局	基本的にはある程度やっていただいた方がいいとは思いますが。
委員	職務の困難さもあり、とあるけれども、どんな困難なのかなと。
事務局	要は、業務量が非常に増えてきて、例えば、一人暮らし調査に行ってもらっていますが、それも最近は応じていただけないことが多くて。
委員	楽しそうだなと思えますが。
事務局	実際はなかなか難しいと思います。
委員	でも、本人がやりがいを持つか持たないかだと思います。
委員	やりがいはありますね。
委員	だから、いやいやするのではなく、もっとやりがいを感じているような、文章的にも夢のあるようなことを書かないと、なり手がどんどんいなくなる。自治会でも1年だけしてとって頼むから、その人が辞めなくてはならないようになってきて

	<p>いるんです。だから次に担い手がなかったらしますと言われるんですけどね。やっぱりそういうふうには悪循環していると思います。私の知り合いの民生委員さんは生き生きしておられますよ。楽しいと言ってやっておられますから。ボランティアの育成でもそうです。楽しいというような持っていき方をしないと、つながっていかないと思います。私たちも毎日、大変です。しんどいんです。でも、しんどいわ、つらいわと言いだしたら。だから楽しい楽しいと言って。</p>
事務局	<p>主旨は分かりました。</p>
委員	<p>だから、「職務の困難さもあり、担い手不足が深刻化して」と。</p>
事務局	<p>担い手不足は変えられません。</p>
委員	<p>それは分かりませんが。</p>
事務局	<p>困難さというのは、また検討します。</p>
委員	<p>これからは高齢者を地域で支えていく時代になってきて、地域サロンにしても、中央へ人を集めるよりも小さい単位であることを私たちは目指しているんです。そうしたら、窓口になってくださるのは、老人会や民生委員だったり、連携をして運営していかなければいけないんです。だからそれをどうやりがいを感じてもらいように持っていくかがこれからの課題だと私は考えています。だから、予防部会ですから、やっぱりそれをどうしていくかというふうにしないと、大変だから担い手がないからでは。民生委員は専門職で資格を持った、私たちのボランティアとは違うレベルの人ですから、そういう人たちが地域で待ち受けていただいて、私たちのようなものが鍋釜下げて飛び込んでいく。そこへ老人会の方が人集めをしてくれるというに、3本柱の体制がこれから大事なことだと思っています。だからよく会議で、老人会だけではしんどいとか民生だけではしんどいと言われますが、そうではなくて、その3者が一緒になって、そこへまた先生やほかの先生方も飛び込みで支えていく体制をつくらないと、予防部会はとてもじゃないですが無理だと思います。</p> <p>中にはすごくやりがいを感じて、一生懸命しておられる民生委員さんもおられるのですから、そういう人たちを広告塔にあげてしていかないと。大変だから、しんどいから、なり手がありませんばかりいってはいは、私としては何か嫌です。私は頼まれたら民生委員をしようと思っているんです。誰も言ってくれないんですが。私は人権擁護委員をしています。民生委員はこれから大事です。顔の見える民生</p>

	<p>さん。一人ずつの顔の見える、その人たちの生活を担っているのが民生委員さんだと思っていますから、やる気のある人がどんどん出てもらう体制づくりをしなければならぬと思います。なり手が無いということばかり書いてはいけません。つくづく思っています。これは10年ほど思っていることです。本当ですよ。私は民生委員さんのことを尊敬しているんです。やっぱり一番地域の大事な人だと思っていますから。それが1年か2年したら交代していくでしょう。あれがいけないんですね。</p>
事務局	<p>継続している方もおられますが。</p>
委員	<p>だから、そういう人たちがなんで継続しておられるかということを知って、その人がどうやっておられるかをアピールして、やりがいを感じてもらえるような体制づくり。こんなふうにしてしまったらなり手が無いんだな、大変だなあと感じますね。そうしたら、頼まれても絶対に受けないと思います。受ける前からしんどいのが分かっているんだら受けませんよ。</p>
事務局	<p>最初の文面は。</p>
委員	<p>変えてくれというのではなくて、私のポリシーですから。やっぱり言葉では、ボランティアさんがいて、やりがいを感じてもらえるような取り組みの仕方を、文面からあらわれるような書き方をしてもらえたらと思います。ボランティア育成でも同じですよ。なかなか大変ですが、楽しいね、やりがいあるねと言っているからみんなついてきますが、こんなやらされて、市役所がしろって言うからいやいやしてる、つらいと言っていたら誰も来ませんよ。これからはそういう教育をしていかなければ難しいと思います。おいしいところだけ取って、楽しいことだけして、帰ってしまって、つながっていかないというのが私の長年の経験です。</p>
委員	<p>みんながみんなそういう人だったらいいですけどね。</p>
委員	<p>でも、委員のような人もおられるわけですから。こういう人たちがなぜここまでこられたかということもアピールしてもらったらいいと思います。この文章でいいのですが、私はそういうふうにかねがね思っているというだけのことです。このままで結構です。</p>
事務局	<p>ますます担い手がなくなるという文面は。</p>

委員	<p>それはいけません。嫌だったら受けなければいいんです。なり手がなかったら、無理にしてもらわないでもいいんです。私はそう思っています。いやいやしました。したくないのに、やらされましたと行く先々で言われますでしょう。私はあれは嫌いです。それなら受けなければよかったと思うんです。やっぱり受けるからには、楽しいなというふうに思わなければ。</p>
部会長	<p>ぼくもその通りだと思っています。私も生駒市民ですから、広報にはいつも目を通しているつもりですが、要するに、頑張っておられる方を行政が取り上げてスポットを当てるとか、ネガティブな面だけではなくて、目立つようにといたらあれですが、功績をたたえるようなことがもうちょっとあってもいいのかなという気はします。頑張っておられる方は地道に頑張っておられますが、案外、取り上げられるところは少ないかなというイメージもあります。</p>
委員	<p>これで結構ですが、私は思っていることを言っただけで。余計なことを言いました。すみません。</p>
部会長	<p>その他、何かありますか。</p>
委員	<p>今、お話があったように、たしかに民生委員の方も、中にはこういうふうにしていこう、ああいうふうにしていこうということで、3年では足りないからもっとしようという意欲のある方もいらっしゃるし、おっしゃったように、誰もいないからなつてと言われてなつているという方もおられますので、それは民生委員だけではなくて、老人クラブもみんな同じだと思います。みんながやりがいを持てるようにしていかないと、みんながやらされているというので駄目だろうなどは思います。</p>
委員	<p>もったいないですからね。</p>
委員	<p>だから老人クラブでもそうですし、やっぱり楽しくやっついこうという思いを持って、今度50周年もありますね。</p>
委員	<p>広報に出ていました。</p>
委員	<p>それも、こういうふうに頑張っていますよというアピールをしないと、準備が大変だ、つらいと言っていたのでは駄目かなとは思っています。</p>

委員	<p>縦割りがすごくきっちりしていますが、そうではなくて、老人クラブも民生委員も地域のボランティアさんもみんなが協力して、地域の住民たちを守っていくという方向にいったらいいのになと常々私は思っています。なかなかそのところが、民生委員は民生委員、老人クラブは老人クラブというような感じですから。</p>
委員	<p>私などは今、地域包括支援センターと一緒に3日間続けて桜ヶ丘に行ったり、あちこち回ってきているのですが、やっぱり地域に行けば老人会の人たちや皆さんでこういう部屋に集まっていたいて楽しくするという、飛び込みで細かい地域で20人、30人単位で回っているのですが、とてもいい感じで回らせていただいています。そこに民生委員さんに座っていただいて、私たちも行って、老人会の人たちも来てという、それを生駒市全市で細かい単位でできたら、予防部会はばっちりかなと私は思っているのですが。だからやっぱり民生委員になられた方たちの研修をもっと楽しいと思われるような研修に持って行っていただきたいと思います。もったいないなと思います。</p>
委員	<p>本当にもったいないと思います。</p>
委員	<p>もったいないです。たくさんいい人がおられるのに、それをうまく使いきれていないということは感じます。その辺、またご指導よろしくお願いします。</p>
部会長	<p>その他、いかがでしょうか。委員のような方があと10人ぐらいおられると違うかもしれませんね。そこがどのようにつくるか。</p>
委員	<p>それを上手に押し上げる人がいないんです。いい人はたくさんおられるんですが、それを、頑張っているねと言うのは行政の役目だと思っています。何も活動費を渡すということではなくて、頑張ってくれているから助かっていますというひとことを上手に言えるか言えないかが行政の担い手の使い方です。私も、ここまで来たのは、ありがとうと声かけしてもらえるからです。何かくれたわけでもないのですが、そういうちょっとしたことでもほめてもらえる。そうしたら、また頑張ろう。しんどいけど頑張ろうと思う。それが35年続いてきたわけですから、やっぱりそういう体制を行政の方が担っていただいたら、みんな喜んで動くのにと私はいつも思っています。</p>
部会長	<p>たしかに取り上げ方というのは行政の部分が多いのかなと思います。実際のやり</p>

<p>委員</p>	<p>がいか、魅力を伝えるのは当事者がうまく伝えていくということしかないのかなと思うのですが。そのあたりでどうしても、そういうことを伝える方やリーダーシップを取ってやられる方が少ないということなんでしょうか。</p> <p>やっぱり人というのは、しんどいねといったら、しんどいねとなってくるんです。やめておこうかといったら、やめておこうになるんですが、そんな言わんとしような、と言う人がやっぱりいるんです。誰でもそうですよね。ちょっと言われるとそうやなど。うしろからちょっと押しもらえるようなこと、それがなかなかみんな言われたいです。しんどいしんどい、せやなあ、嫌やなあという方たちばかりになるから、もったいないなと感じています。</p> <p>ひまわりの集いも丸2年してきましたが、しんどいことはたしかにしんどいのですが、楽しいな、おいしいと言ってきてよかったなで明日につなげていく。そういうことがあったから2年続いてきたわけです。こんなしんどいのいやなあ、ほんまやなあ。そやなあ、ほんまやなとなると、みんながしんどくなってきましたが、しんどかったけど、何々さん、喜ばはったやんといって、ほんまやなあ、またあんなんしようともっていく。そういう体制づくりが行政にもこれから必要なと。機構づくりは行政の方にしてもらいますが、それにプラスアルファ、やっぱりもう一声がもらえたら、もっとボランティアさんが育成されていくなという感じがします。</p> <p>だから、一人住まいの調査についても、いつも課長が温度差がありますと言われますが、温度差があってもかまわないと思います。みんな、そういうチャンスをいただいて、みんな2人、3人で回らせてもらって、よかったなあ、そこにおばあちゃんがいるのが分かったなあとか言って、それでいいんじゃないですか。温度差が低かったら低いで放っておいたらいいんです。みんなが盛り上がってきたら、いやでもしないといけなくなってくるんです。それをこれから上手にしていかないと、これから高齢化社会になってほとんどおじいさん、おばあさんになってきたら、こんな事業はとでもまかなっていくことはできないと思います。</p> <p>ひまわりの集いも2年やってきましたが、あと2年は確実にやっていきたいという気持ちで今は意気込んでいますが、それをどのように動かしていくかということがこれから大事になってきます。</p>
<p>部会長</p>	<p>ひまわりの集いには、今度、お邪魔しますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さんもぜひ。ごちそうしますので。 昨日も桜ヶ丘に行ったのですが、やっぱり一人住まいで、ご飯を食べる機会が少</p>

	<p>ない。みんなでやいやい言う機会が少ない。いつも 10 人 15 人のサロンが、ご飯があるというだけで 30 人来るんです。なにも伊勢エビが出るわけではないけれども、みんなでわいわい食べられるという、そういう楽しいことがあるというだけでも参加者が増えるというのはとても大事なことだと私は思っています。その集まりが、先生がいつも言われるようにコンビニレベルでちょこちょこできたら、それでばっちりです。来られない人がどうやとかいうよりも、とりあえず最低限地域を回るだけで。そこから先のことは考えていったらいいことで、私は来年からもっと隅々まで行きたいと思っています。べつに行政から行かされるわけではなくて、自分で行こうと思っています。あの喜ぶ顔を見たら、また行こうと思いますよ。ぜひ、ひまわりの集いを見に来ていただけたらと思います。それが私の元気の基と感じています。</p>
部会長	<p>回らせていただきます。百聞は一見にしかずというところがあるので、その場に行かないと。</p>
委員	<p>期待してもらうほどの中身はありません。たいしたことはありません。適当です。その適当さがいいんです。いい加減さが。</p>
委員	<p>それはなかなかできることではないです。</p>
委員	<p>でも、2年、3年続けることは大変です。大変ですが、頑張っってやりたいと思っています。</p>
部会長	<p>部会長をさせていただいていますが、どうしても頭でっかちになりがちなので現場を見ないと何も言えないなというのは痛感しています。それを見て、またそんなところを見にいきたいという人を増やしていくことも必要だと思います。</p> <p>その他、何かありませんか。今回、ちょっと確認ですが、文言というのは一部修正はできるのでしょうか。そこは無理という前提でいった方がいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>できます。</p>
部会長	<p>今回、予防部会はこれで最後になりますので、文言の修正ができる最後のところでもあると思いますので、ぜひご意見、よろしくお願ひします。</p> <p>ほかにご意見がなければ、次の案件に進ませてもらいたいと思います。案件(3)第6期介護保険事業計画(一部抜粋)の素案について(修正版)について事</p>

事務局	<p>事務局から説明願います。</p> <p>案件（3）第6期介護保険事業計画（一部抜粋）の素案について（修正版）について説明 第1章から第6章</p>
部会長	<p>今の認知症に関することでご意見ございませんか。</p>
委員	<p>今、認知症で行方が分からなくなるという人がすごく増えていますが、生駒市ではどうですか。</p>
事務局	<p>毎年数件出ています。GPSの装置を付けてもらって、そういうことがあったら、ある程度、早めに分かるという対応と、この9月から検索ネットワークというものをつくりあげて、そういうおそれのある方は登録をしてもらおうという制度で、見守りのキーホルダーと靴のところにぴかぴか光るグッズを付けて、これはひょっとしたらということが分かるような体制づくりを9月から始めています。そういうことをやっていますが、これまで去年で10件はいきませんが7件、8件。それまでも2件、3件ありましたが、去年ちょっと増えました。これが実情です。これから高齢化社会になれば、認知症の方も増えますので、そういう体制づくりをきちんとしていかなければならないということで取り組みを始めたところです。</p>
部会長	<p>その他、いかがでしょうか。キャラバンメイトについて書かれていますが、これはどういう活動をされているかご説明いただけますか。</p>
事務局	<p>キャラバンメイトというのは、認知症サポーター養成講座を開講できる人のことを総称した呼び名です。生駒市内には地域包括支援センターの職員や介護保険の事業所の職員に加えて、各ボランティアさん等でもご活躍いただいている方には、キャラバンメイトになっていただいて、各団体の啓発等に努めていただいている、今日ご出席いただいている委員が会長をお務めの団体の中から何名かキャラバンメイトになっていただいています。</p>
委員	<p>養成講座がありました。</p>
部会長	<p>講座を開くことができる資格といいますか、そういうことですね。分かりました。</p>

委員	でも、まだまだ力不足な点がありますので、もう少し研修したらどうかなと私は思っているのですが。
部会長	キャラバンという言葉があるので、市内を色々巡回したり、そういうイメージかなと思いますが。
委員	県レベルの養成講座で、それは何人か受講させてもらったんですが、それで地域で何ができるのかといったらなかなか実践といったら難しい部分があって、だからもうちょっとその辺を市レベルでまとめて研修していただけたらいいかなと思っ ているのですが。
事務局	今後の予定としては、キャラバンメイトの方たち、事業所レベルと一般市民レベルがありますので、ひとつのツールを市で作成して、それを展開していただくようなことを考えています。
部会長	その他、いかがでしょうか。認知症施策は、軽度認知症者をいかに早期発見して対応するかというところにこれまですごく力を注がれてきているかなとは思いますが、おそらく今後、どれだけ予防ができたのかというところが何年か後にはすぐリアルに求められるのではないかと予測しています。軽度認知症者というのは、MCI というものですが、国立長寿医療センターの研究だと、ほうっておいたらその中で 50 パーセントは確実に認知症になるというふうなデータが出ていますので、その 50 パーセントをどのぐらいに減らせるかというところで、本当に予防効果みたいなものをちゃんと追っていけるようなシステムが整っているかということが重要かなと思います。また成果が求められると思います。 もし、その他ないようでしたら、地域支援事業の方に移ってもよろしいでしょうか。では、よろしくをお願いします。
事務局	案件（3）第6期介護保険事業計画（一部抜粋）の素案について（修正版）について説明 第7章～第10章
部会長	今のところで何かご意見、ご質問はございませんか。
委員	85 ページの③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の4行目、「特に高齢者が、病院等に入院した場合には～地域医療連携室との連携を強化していきます」と

事務局	<p>いう文を追加したという説明がありました。先般の全体会の時でしたか、市議会の方から意見が出てきてどうのこうのとちらっとおっしゃっていましたが、その話とこの3行とは関連していますか。答えにくければ結構です。</p> <p>市議会の方からご提案いただいている意見で、計画に反映するのが適性であるものは、今回、修正の文言に付け加えさせていただいています。ここの連携の部分は、実際、現状でもやっていることです。前回の5期の計画では、包括支援業務に関してすごくすい記載の仕方になっていましたので、実際、ここまでやっているのに、その部分がうまく表現できていませんでしたので、ご指摘いただいた内容と、実際やっていることを、こういうことをしています、強化していきますということを記載しました。</p>
委員	<p>それから、数字の比較の仕方が分からなかったのですが、68ページのオ 家族介護教室等とあって、その下に表があって平成24年度～平成26年度まで実績が書いています。食の自立支援事業で24年度50、25年度35、26年度30という数字が書かれています。住宅改修は84、80、90と書かれています。その表と、88ページ【サービス量の見込み】の表を比較すると、比較しにくいところがあります。ぱっと見て、桁が全然違うと。質問の意味は分かっていますか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>どちらかに整合性を図っていただいた方が。88ページだけを見ていたら、このレベルで増えていくというのがわかります。しかしながら、26から27は、増えているのか、減っているのか分からない。このデータはこのようにしか表現のしようがないというのであれば仕方ありませんが、分かるように説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それから先ほどの話に戻りますが、47ページ(5)高齢者の就労の促進・支援について、シルバー人材センターを活性化しようということと、NPO等による生活支援サービス事業所等の確保と書いてあります。生駒市としてできるかどうか分からずに話をしますが、団塊の世代の方を、家の中でじっとして、認知症が進むのを待っているのは、私はもったいない話だと思っています。そのためには色々な活動があると書かれています。つまり、就労支援であれば、本当に働いてもらおうじゃないかと。実際に。税金も払ってもらおうじゃないかという感じで、それを企業とシルバー人材センターで、来月の何日に草刈をしてよということもありますが、実際に働いてもらうようなシステムを市の方でできないのでしょうか。それは</p>

	<p>法律上、職業安定所でしかできないという話であれば別ですが、市の方で、ここの企業さんで年間を通じてこういう仕事をしてほしいと。直接雇用という話です。こんなことができるのであれば、それは家でじっとしておられるのだったら、しっかりしておられるのだったらもったいないだろうと。自治会活動、民生委員さんの活動もいいですが、全員がそれはできないと思いますから。そういうことも考えられたらいいのではないかと。予防でこうしましょう、ああしましょうというのではなく、率先して実際に働いてもらおうとそれは一番の予防になると思います。</p>
委員	<p>75歳まで年寄り扱いしないということですね。まだ現役だと。</p>
委員	<p>75歳までいけるかどうかは別ですが。</p>
委員	<p>高齢者と言うなということですね。</p>
委員	<p>70歳までは働いた方がいいのではないかと。</p>
委員	<p>職業斡旋ではありませんが。</p>
委員	<p>それができるかどうかは分かりませんが。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃったことに関して、今度、10月21日に東京の方で日常生活圏域ニーズ調査などを精力的にやっておられる会社が、高齢者の企業とのコラボといったことの研究を今、されているという話もどんどん出てきているので、情報を集めたいと思っています。</p>
委員	<p>生産労働人口が減っているという話ばかりで、暗い話ばかりなので、実際に元気な60歳代にもっと頑張ってもらおうというふうなものも私は必要かなと、最近、つくづく思っているところです。</p>
部会長	<p>たしかガイドラインにもありますよね。出番づくりという表現をされたりしていたと思いますので、介護予防もそういう方向もすごく大きな部分かと思えますし、案外、企業の方がその辺に敏感で、この間も、生駒にもありますセブンイレブンがシニアスタッフに限定して募集をかけているのを見ました。一般の若者のアルバイトと明確に分けていて、ちょっと面白いなと思ってホームページも見てみたのですが、まさに介護予防に通じるような出番づくり、家でくすぶっていたらあかんとい</p>

	<p>うことと、実際にセブンイレブンで働いている方のシニアの方のインタビューや写真が満載されていたので、セブンイレブン、目の付け所いいなとちょっと思いました。コンビニでもそういうことをやっているんだと。</p> <p>奈良県に聞いたら、奈良県はローソンやファミリーマートと提携を結んでいるのに、あまり生かしていないようなところがあって、今は主にサイクリングをしている人の休憩ポイントとして利用されているということでしたが、地域提携の締結した内容を見ていると、ちゃんと地域高齢者に対する健康増進といった役目もコンビニがはたしますということで、たしかイオンとローソンとファミリーマート、なぜかセブンイレブンは入っていませんでしたが、ちゃんと協定を結んでおられるので、そういうことをもっと活用したらいいのになと個人的に思っています。今の委員の話と少し通じるのかなと思いますが、行政ができるのか、企業側がというところかもしれませんが、産学官の連携や提携ということで推し進められたら面白いなと、今、思っています。</p> <p>最近、パチンコ屋さんなんかでも健康に関する取組を始めているところがあって、パチンコ屋さんの中に運動教室があったりするところも出てきていて、パチンコイコール不健康というイメージを脱却するような、そういう企業側の戦略だとは思いますが、間違っていないなというふうなところも確かにありますので、そういうことも全部含めて介護予防に通じてくるかなという気がします。</p> <p>あと、私の方から、対象者の把握事業は今まで二次予防事業の中に含まれていたと思いますが、これが再来年度以降、新総合事業になると、一般介護予防の中の把握事業という形になるのではないかという話をたしかされていたと思いますが、それは手段としては、やはり枠組が移動するだけで、チェックリストなりを使つての方法論というのは、それほど変わらないということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>方法論は、必ずチェックリストでやらなければならないということは定義されています。今の二次予防事業の把握事業をさらに対象者を絞り込んで、効果を高くするなら、その把握事業で代用してもかまわないという回答を国、県からいただいています。</p>
部会長	<p>では、チェック方法も、各市町村オリジナルでもいいということでしょうか。</p>
事務局	<p>基本チェックリストというのは、変わりません。</p>
部会長	<p>基本チェックリストで色々問題が把握できるのかということもいわれているので、生駒市のオリジナルのいいものが使えたら、その辺の自由度があればいいなと</p>

事務局	<p>思ったのですが。</p> <p>ただ、介護認定を受けないでいいよという形であるのは、基本的に活用しなさいと名言化されているので、その使い分けが。</p>
部会長	<p>だから、窓口でスルーしてそのままいくのにはチェックリスト使わないといけないという感じではあるんですね。ほか、どうでしょうか。今日はもう議題もほかにもありませんし、時間的にもゆとりがありますので、意見出しをどんどんしていただけたらと思います。地域包括支援センターと委員が連携して地域に根ざした活動をされているという話でしたが、僕もよく分からないのですが、ちょっと前までは地域包括支援センターを知っていますかというレベルからもともとスタートして、地元の人、ああ、そういうところあるんやという、ひと昔前まではそういうスタンスだったと思うんですが、地域包括支援センターというのがあるって、色々な相談業務をやってくれるんだという認知度というのは、かなり浸透しているのでしょうか。</p>
委員	<p>浸透していると思います。もう地域包括支援センターができて5年、6年ぐらいは経つと思います。それこそ高齢者ではなくて、私よりもちょっと若いぐらいの方がサロンに参加されて、ちょっと聞いてとか、ちょっと教えてというレベルで。私はいつも、元気な間から包括さんと仲良しになっておいて、困ったことがあってから包括に泣きつくよりも、元気な間から顔見知りになっておいてもらうことで上手に包括を活用してということをするのですが、あれが結構、進んでいるように思います。だから、包括さんもみんな名前も分かっている、顔も知っているといういい関係ができていくなというところはこの頃びっくりするところです。</p> <p>生駒市全地域の包括とのかかわりはちょっと浅いのですが、全部の地域の包括さんと仲良しになれたらいいなというところです。包括さんも大変なんです。少ない人数で運営されているのは大変なので、私はいつも、難しい話は包括さんでしておいてもらって、あんたらは用事が終わったら帰りやと。そのあと、私たちにご飯の方は任せてやと。見張り役は一人ぐらいおいときやと言って、全員帰ってしまったら、何をするか分からないから見張りはおいときやと冗談言って、その人たちはいつもの正規の業務に戻られる。私たちがそのあと、面白おかしくわーわー言って過ぎて閉会するというようにすると、包括さんの仕事も楽かなと。そうでないと、延々と最後、みんなが帰るまでずっとそこにいるというのも大変ですから、ここところの専門性のところは包括さんなしではいけませんので、1時間ほどやってもらって帰ってくださいという形で運営すると、いい感じでできていますので、</p>

	<p>これが全市域の包括さんと仲良くなりたいなと思っているところです。またその辺りご指導ください。</p>
委員	<p>私たちは老人クラブとかサロンというところで何かあった時に来てもらって説明を受けたり、こういうことがあるんですよという話を聞いていますが、そこに出てこられる方というのは、やっぱり全住民の何割かなんですね。ですから、まだ全体に行き届いてはいないと思います。</p>
委員	<p>そこで私は、来られている方は受け身ではなくて、今日はボランティアの第一歩なので、元気で来られた方は地元の家へ帰った時に、隣近所に自分が今度学んできたことを伝えたり、見守るボランティアの第一歩になりますよということをちらちらと言うんです。だから、元気で来られる方は受け身ではなくて、あ、そうなんや、私も元気な間に地域の中で何かできたらいいなという意識を持ってもらうということをサロンへ出向いていく目的の一つにしているんです。ですから、ここへ来ている人は、今日からボランティアをする気持ちになってくださいよという、あ、本当ですねと言って帰っていただいているので、そういうきっかけづくりになって、そこへ来られない人たちは、サロンに行った人たちが見守りをする。それで来られない人を今度お連れするということにつながっていけば、本当に来られない人はしかたがありませんが、少しでも、その中の何パーセントでもかかわりを。そこに来なくてもかかわりがつながっていけばいいかなと思っています。絶対にいないという人もいますしね。いくら呼びに言っても、行かないと言ったら、絶対に行かない人も多いんです。その辺はそれぞれの自由ですから、強制的に引きずり込むというわけにはいきませんので、その辺はいいかなと思っています。</p>
事務局	<p>今、地区の民生委員さんと包括との連携を密にするために、例えば、西地区だったら西地区、東地区だったら東地区のところに包括が行って、懇親会ではありませんが、話し合いをさせてもらって、民生さんの方も、包括ってこんなことをしているんだという勉強にもなるし、包括の方も、この地域にはこんな方がいるんだということで、実際、地域の高齢者の方で一人暮らしで困っているけれども、介護保険があるかどうか分からないという時に、民生委員から包括に連絡があって、一緒に訪問してということが大分増えてきております。</p>
委員	<p>いいことですね。</p>
事務局	<p>今、それぞれの地区の民生委員が呼びかけて、包括との交流会といったことをし</p>

委員	<p>で連携を深めていこうとされているんです。</p> <p>いいことです。うれしいですね。そこでたまにご飯も食べると。それも大事です。やっぱり食べないといけないですね。食べて話をしたら、いいことが浮かぶんです。ほがらかになるし、うれしくなるし、また来ようと思うし。難しい話ばかりだと、次は来ないでおこうと思いますが、やっぱり食べるというのは大事ですね。基本ですから。</p>
事務局	<p>そうですね。やっぱり一人で食べるのは寂しいけれども、みんなで食べるとおいしいよねという話ですね。</p>
委員	<p>ぜひ民生委員さんには頑張ってもらいたいと私は切にお願いしているところです。でも、いらんいらんと言いながらなされたけれども、一部の民生委員さんは喜んで活動されていますよ。ティッシュ配りしたり、朝早くからでも来られています。引き受ける時は泣きながら受けられていたのに、人間というのは、その気になったら頑張れるものですね。それをどれだけ上手に、みんなで一緒にしようなどというかです。いらんと言っているからほうっておいたらいいわというのでは大違いですから。たしかに忙しくされていますが、その人自身のやりがいになれば。でも、地域包括支援センターさんはよくやっておられると思います。私は感心しているんです。一生懸命です。ああいうところは尊敬します。なかなか一生懸命です。</p>
部会長	<p>顔の見える関係を築いてやっておられるのはすごいですね。</p>
委員	<p>包括だけではしんどいんです。だから民生委員とのかかわりがあったり、自治会とのかかわりもあったり、ボランティアや老人クラブの方から、あの人のところにたまたま行ったらしんどそうにしてはったわとか、お弁当が置いたままやったわという、そういう情報があれば、そうなんだということで動きやすいし。みんな連携していかないと難しいなど。</p>
委員	<p>これから特にそう思います。いい関係が進んでいたらうれしいですね。始まっているということですから。</p>
部会長	<p>橋渡しを誰が上手にするかということはずごく大事ですね。</p>
委員	<p>これから特に必要だと思います。今までだとそんなこと必要なかったことです</p>

	<p>が、これからは大事なことだと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>生活の調査でも、元気高齢者の中で地域のためにやりたいとおっしゃっている方はたしか3割ぐらいはおられたという回答でしたよね。</p>
<p>委員</p>	<p>したいんだけども、そのきっかけがなかなかしないまま終わってしまう人が多いと思うんです。チャンスを逃しているというか。</p>
<p>部会長</p>	<p>潜在的にはたくさんおられるはずだということですよ。3割が多いか少ないかはよく分かりませんが。</p>
<p>委員</p>	<p>多いと思いますよ。人のために何かしたいというのは、なかなか人間は思わないものですから。</p>
<p>部会長</p>	<p>たしかに。</p>
<p>委員</p>	<p>男の料理教室は3年前まで90人応募があったんです。たった30人の定員なのに。最近、30人の定員に20人しか来ない。なぜかという、70歳まで働きに行くからです。男の料理には行かへんと。忙しくて行けないんです。それで、申し込みが20人あった中で、3人ほどは急に仕事に行くことになりましたからといってキャンセルです。つらいところです。先ほども委員の話ではありませんが、やっぱり仕事に行くという人が増えてきたんです。だから、今まで暇で難儀しているから男の料理でも行こうかという人が多くて、30人定員のところに90人も応募があったんです。それが3年の間にどっと減って、それで申し込みを受けて、来てくださいといった中の3人ほどは、すぐに仕事に行くことになりまして、すみませんと断ってきたんです。</p> <p>ということは、いかに年金だけでは生活できないか。介護保険は引かれるわ、なにやら引かれるわ。それも現実ですし、それこそ自分のために仕事をするという自立のための仕事というのももちろんですが、何やかんや込み込みで仕事を始めたという人が増えてきたというのが現実です。この3年、急に変わりました。それはびっくりしています。会社も65歳まで働けるとか、70歳まで働けるという時代になってきましたから。</p>
<p>部会長</p>	<p>それはいいことではありますね。</p>

委員	いいことですよ。うちが少ないということは、データが出るよりも現実に体験していることです。ああ、そうなんやと。自立に向かっているなということを感じますよね。
部会長	また仕事をされる方も、お金がメインというわけでもないですよ。生きがいとか。
委員	私も年金をもらうようになりましたが、いっぱい引かれて、とてもそれで生活できなくなりました。ものすごく引かれるんです。うちはコメをつくっているから生きていけるなと実感しているところです。たまには旅行に行つてというのは大変です。引かれることが多いですから。どうですか。ぜいたくにといいわけにはいきません。例えば、病気でも持っていたら医療費を払って、それが必要になってくるととても大変になってきます。やっぱりパートにでも行こうかという気持ちになるのも現実です。いいんじゃないでしょうか。それで自立になれば。
委員	でも、シルバー人材センターに登録している人は、なかなか思うように仕事が来ないと言っている人が多いです。
部会長	そうですね。
委員	安いですよ。障子を張り替えてもらってもものすごく安い。なんでみんな頼まないんでしょうか。
委員	でも、そういう仕事を頼んでも、待ちがあるとか。剪定といった特殊な仕事は結構ありますが、登録されているうちの中で、やっぱりきつい仕事はしんどいし、病院なんかのシーツ換えや掃除に行つたけれども、あまりにもしんどすぎてできないとか。なかなか回つてこない。やつとあつたと思つたら抽選があつて、その抽選に漏れてしまつたとか。
委員	その辺がうまくいっていないんですね。
委員	シルバー人材センターにも登録されている方は結構いらっしゃるけれども、仕事がないと。
部会長	仕事が全然足りていないということですね。

委員	公園の草刈や植木の剪定や障子の張り替えといった特殊な仕事は結構あるみたいですが。
部会長	シルバー人材センターは時給制ですか。時給 800 円ぐらいですか。
事務局	種類がいくつかあって、事務系や技術系によって違うようです。
部会長	その他、いかがでしょうか。
委員	64 ページの下から 3 行目、「把握事業おいて」となっていますが、「把握事業において」ではありませんか。細かいところすみません。
部会長	その他について事務局から説明願います。
事務局	案件（４）その他について説明。
部会長	<p>全部で 6 回開催しましたが、つたない進行で初めての経験でもありましてご迷惑をおかけしまして、本当にありがとうございました。計画の内容や文言は素晴らしいものがメニューとしては充実していると思いますので、本当にそれをどのぐらい実現して実行して、成果を出していくかというところで、またご意見をいただいたり、個人的にも色々お世話になることもあるかと思えます。また今後ともよろしく願います。</p> <p>それでは、これで第 6 回生駒市介護保険運営協議会予防部会を終了させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、部会と全体会での審議、大変おつかれさまでした。これで終了させていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>